

## 国際金融公社が発行するソーシャルボンドへの投資について ～新型コロナウイルス感染症対策を含む社会的支援への貢献～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、国際金融公社（以下、IFC）が発行するソーシャルボンドに125百万豪ドル（約95億円）を投資しましたので、お知らせします。

本債券は、ソーシャルボンド原則を遵守しており、IFCがソーシャルボンドの発行を通じて調達した資金は、新型コロナウイルス感染症拡大による景気低迷の影響を受けた国を含む途上国において、必要なサービスを受けられない人々を受益者とするプロジェクトに充てられます。

当社は、「ESG投融資方針」（注）に則り、資産運用業務においては、国連責任投資原則（PRI）への署名などを通じて、ESGの観点を投融資の意思決定に組み込むことを推進しています。引き続き、ESG投融資を通じて、持続可能な社会の実現に貢献する資産運用を行なってまいります。

### 【本債券の概要】

発行体	国際金融公社（IFC）
発行体概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開発途上国の民間セクター支援に特化した世界最大規模の国際開発金融機関であり、世界100カ国以上で開発途上国の民間セクターへの投融資、国際金融市場での資金調達等を通じて開発途上国の持続可能な成長の実現を支援</li> <li>・ 昨年3月に80億米ドルの新型コロナウイルス感染症対策関連の融資枠を設定。7月には、途上国における深刻な医療品の供給不足に対処するために、グローバル・ヘルス・プラットフォームを設立</li> </ul>
社債の発行・購入額	125百万豪ドル（約95億円）
資金用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資金は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた国を含む開発途上国において、必要なサービスを受けられない人々を受益者とするプロジェクトに充当</li> <li>・ 融資にアクセスできない女性が経営する小規模企業、質の高い保健医療にアクセスできない低所得世帯、収穫した農産物を売るための市場にアクセスのない小規模農家への支援</li> </ul>
払込期日	2021年2月10日
償還期限	2035年4月15日（15年）
対応するSDGs目標	

（注）2020年5月22日付ニュースリリース「ESG投融資方針の公表について」

[https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2020/pdf/20200522\\_05.pdf](https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2020/pdf/20200522_05.pdf)

## 【国際金融公社について】

国際金融公社（International Finance Corporation、略称：IFC）は、世界銀行グループの一員であり、新興国における民間セクター支援に特化した世界最大規模の国際開発金融機関です。IFCは、世界100カ国以上で資金、専門知識そして影響力を駆使することで、途上国において市場と機会を創出するための支援を行なっています。極度の貧困の撲滅と繁栄の共有を促進するべく民間資金を最大限活用し、2020年度は途上国の民間企業と金融機関に対し220億ドルの投融資を行ないました。



詳細は [www.ifc.org](http://www.ifc.org) をご覧ください。

なお、IFCは本債券について以下のプレスリリースを発信しております。

“IFC Launches First Bond Swapped to USD SOFR - AUD \$155 Million 'Kangaroo' Social Bond Tap Supporting Healthcare, Women Entrepreneurs and Basic Infrastructure Across Emerging Markets”

<https://pressroom.ifc.org/all/pages/PressDetail.aspx?ID=26183>

以 上